

## 国際交流活動の紹介

### 「来日留学生との交流で

#### 世界の生きた情報が見えてくる」

SA14 期国際交流クラブの活動の一部を紹介します

日本語学習パートナーグループメンバーの活動は個人がそれぞれで行っていますが、10数名で行っている阪大留学生センター吹田・豊中キャンパス 日本語研修コースの例を紹介します。

パートナーは教えるのではなく対等の立場で話し合うお相手を務めるよう指示されており学習を進行しながら各国の国情、考え方、生きた情報を交換しています。

対象者は世界各国からの留学生・大学院生・研究生・訪問教授などで数ヶ月の日本語学習者から全くの未習者までふくまれます。

#### 研修会とミーティング

集中コース 毎年3月及び9月に各10日間

漢字クラス 5月から8月 12回 毎水曜

10月から2月 12回 毎水曜

ビジターセッション 期間は漢字クラスと同じ毎金曜日

#### 交歓会 (世界の料理大会)

全留学生が対象で 留学生がそれぞれ母国の料理を作り、それを皆で食べながら交歓します。

#### 終了発表会

研修終了時各自の成果を発表します。

今年の8月までのクラスの終了時にNさんはパートナーの留学生から英文のお状を貰い感激していました。("日本語で書いてくれたらもっと感激したかも"と言っておられました)

#### イベントによる交流活動

日本語学習パートナーグループでは、日本の伝統行事を留学生に紹介する事を通じてイベントを年2回ペースで企画実施して交流と国際理解の向上を図ってきましたが今年は SA14 期国際交流クラブ全体の催しとし、豊中市刀根山小学校校区の「夏祭り行事」に留学生とその家族およびホストファミリー計25名を招き SA14 のメンバー 16名が一緒に参加した。

03年7月20日 刀根山小学校・刀根山蛭池会館の会場では留学生にとって初体験の浴衣姿で



盆踊りをし、お神輿「話輪和号」を担いでふれあい交流にぴったりの内容となり、国際色豊かな彩りを添えました。提灯を飾った櫓から太鼓のお囃子、音頭に合わせた盆踊り、夜店で夏の夜の情緒を楽しみ、留学生達は帰る予定時間になっても戻ってこないほどでした。留学生の感想は "すげ!!"

"さいこう" と盛況のうちに終わりました。

ちなみにこれまでのイベントは-- 02年2月3日豊中市民会館で節分フェスティバル (10カ国19人)-- 02年7月7日吹田青少年野外活動センターで七夕フェスティバル (9カ国18人)-- 03年3月9日雑祭りフェスティバル箕面市メイプルホール (9カ国16人)-- 03年秋 SA14 国際交流全体行事として「留学生との交流ハイキング」を計画中です。

#### 留学生センター主催の研修会への視聴参加

その一例、03年3月13日

阪大留学生センター浜田真理助教授

北京外国語大学派遣研修終了帰国報告

「北京の現在」

中国沿岸部と内陸部の所得格差、国民の国内住居移動の制限、中国で職を得る早道は沿岸部の大学を卒業する事、このため沿岸部の大学の受験競争は熾烈、中国では文系大学でも受験時に数学を

要求、全科目総合評価ではなく一科目でも低い点数なら不合格となる単科目評価、などを述べられ、日本の教育環境で大学受験の科目を減らすとか、新学習指導要領のもとでゆとり教育の実施で学力低下が危惧される等の指摘をされた。

このように外国へ留学された経験話からも解るように日本に来た留学生が母国に帰るときに日本の社会事情を正しく理解して欲しいと感じると共に、私達もパートナーをする事により沢山の事を教えられているように感じている。

14期国際交流コース 吉中尚志